

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
ウィメンズヘルスト論演習	1	後期	2	演習 60時間
担当教員	下睦子、久保幸代、志村千鶴子、矢島藍、瀧真弓、三國和美			
授業概要	各学生の背景や専攻に応じて、地域で生活する妊産褥婦・新生児及びその家族のニーズに対応するケアシステムの創造と運営、又、組織改革に向けた業務分析や新たな人材育成計画・院内教育の実施等、改善や改革に向けた基礎的能力を養う。更に高度実践を目指す学生は、妊産褥婦と胎児・新生児におけるハイリスクやそのメカニズムを理解した緊急時の対応、対象支援に必要な助産ケアの知識・技術を習得する。更に新生児蘇生や産科救急の技術について理解を深める。また、教育分野を目指す学生は、ウィメンズヘルス・助産学の基礎的教育の内容・方法について習熟を目指す。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子及び女性の健康教育実践リーダーとしての知識を身につける。 2. 社会的ハイリスクな状況にある妊産婦とその家族の支援の実際について理解を深める。 3. 妊産褥婦と胎児・新生児における緊急時の対応、医療連携と助産師の役割について理解する。 4. ハイリスク状況にある妊産褥婦と新生児のアセスメントと助産ケアの知識・技術を習得する。 5. 助産活動を発展させるための専門職団体の諸活動や政策提言について理解を深める。 6. 母性看護学・助産学の教育について理解し、基礎教育及び、院内教育を含む人材育成システムについて理解する。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	地域で生活する母子とその家族のニーズの把握	久保	
	2-3	プロフェッショナル助産技術①	矢島	
	4-6	産後の心理支援と助産師の役割①	下	
	7	社会的ハイリスクな状況にある妊産婦の支援の実際	瀧	
	8	社会的ハイリスクな状況にある妊産婦の支援における地域連携	瀧	
	9	NICUにおける母子とその家族の支援	瀧	
	10	NICU との連携と助産師の役割	瀧	
	11	妊娠分娩に関連する泌尿器・生殖器への影響	三国	
	12	妊娠分娩に関連する骨盤ケア	三国	
	13-15	教育の計画立案(小集団、院内教育等)①	下	
	16	小集団指導の計画立案(小集団、院内教育等)④	下	
	17-18	小集団指導の実際(小集団、院内教育等)①	下	
	19-21	ハイリスク助産ケア演習(妊婦)①	下	
	22-24	ハイリスク助産ケア演習(産婦)①	志村	
	25-27	ハイリスク助産ケア演習(褥婦)①	久保	
28-29	ハイリスク助産ケア演習(新生児)①	久保		
30	ハイリスク助産ケア演習(1か月・4か月児のアセスメント)③	久保		
教科書	特に指定しない			
参考書	毎回の授業で、テーマに沿って提示する。			
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> ・目標達成に関する授業時の行動達成レベルと討議参加状況(70%) ・レポート課題に対する成績(30%) 			
事前・事後学習	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に提示する資料による学習や視聴覚教材による予習を必ず実施して授業に参加すること。 ・授業テーマごとに授業後の課題を指定の期日までに指定場所に提出する。 			
備考	特になし			